

2017年6月4日(日)

仙台でアフリカ W イベント開催！アフリカを心と体で感じる1日

★第1部 トークショー「ルワンダの悲劇から学んだ教育の大切さと希望」

13:00～16:00 入場無料 カンパ制

★第2部 アフリカドラムライブ「仙台にマゴソスクールがやって来る！」

19:00 START：チケット 2,000 円 1ドリンク付

主催：NPO 法人アマニ・ヤ・アフリカ ご予約 info@amani-ya.com



第1部：「ルワンダの悲劇から学んだ教育の大切さと希望」 入場無料
(講演後に活動へのカンパをお願いしております)

★1994年4月6日にルワンダで起こった大虐殺は発生からの約100日間で100万人に近い人が殺されたと言われている。現在、福島県でNPO法人ルワンダの教育を考える会の代表を務めている永遠瑠・マリルイズさんは、その虐殺を何とか逃れ、その後ルワンダの首都キガリに虐殺で傷ついた子供達の為の学校を設立。その当時の国内と人々の様子や教育の大切さとこれからの未来について語っていただきます。また、そのトークを受けてマゴソスクールから早川千晶さん、ダニエル・オチエンさん、ヘゼカヤ・オギラさんにも参加していただき、アフリカの今後と未来への希望をお話しいたします。実際に起こってしまったルワンダの悲劇とそこから立ち上がる人々、そしてキベラスラム内のマゴソスクール。それぞれの姿を通して見えるアフリカの現実みなさんの想像を遥かの凌ぐ事でしょう。

★時間 12:30 開場 13:00～16:00 定員約50名の会場ですのでお早めにお越し下さい

★場所 仙台福祉プラザ 第2研修室 〒980-0022 仙台市青葉区五橋2丁目12番2号

★出演：・永遠瑠・マリルイズ(ルワンダの教育を考える会代表)

・早川千晶(キベラスラムのマゴソスクール運営)

・ダニエル・オチエン(マゴソスクール校長)

・ヘゼカヤ・オギラ(マゴソスクール教頭)

第2部：アフリカドラムライブ「仙台にマゴソスクールがやって来る！」

★時間 18:20 開場 19:00 開演 21:00 頃まで

★場所 仙台市青葉区国分町3-4-20 清和ビルB1F Cafe de Lucille カフェドルシール

★定員 45名 予約承ります。45名になり次第終了となりますのでお早めにご連絡下さい。

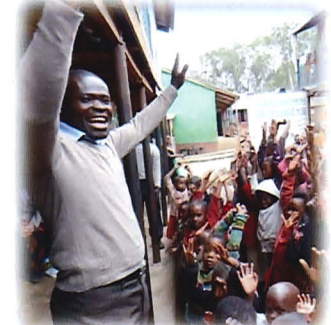
★問合せ 090-2975-6946(石原) メール info@amani-ya.com FAX 022-797-7556

★料金 2,000円(ワンドリンク付 2杯目以降はソフトドリンク100円 アルコール400円でご提供致します) アマニ・ヤ・アフリカ会員様は1800円です。

★出演 大西マサヤ 早川千晶 ダニエル・オチエン(マゴソスクール校長)

ヘゼカヤ・オギラ(マゴソスクール教頭)

★ケニアからのゲストフル参戦でのンゴマ(タイコ)ライブ！日本でパーカッションistとして活躍し、その後ケニアのドゥルマ民族の村で9年間の修業をした大西マサヤさんの迫力あるタイコに乗せて、マゴソスクールからやってきた校長先生ダンさんと教頭先生オギラさんの二人、そして綺麗な歌声でボーカルを務める早川千晶さんがアフリカライブを繰り広げます。マゴソスクールがそのまま仙台にやってきたかのようなメンバーで送るアフリカライブ。小さめの会場ですが、その為迫力は抜群！アフリカのリズムが体の底に響き渡ります。



★**永遠瑠(とわり)マリルイズ** 1965年10月 ルワンダ人の父親の赴任先であるコンゴ民主共和国に生まれる。1985年7月高校を卒業。1985年9月技術高等学校に洋裁の教師として赴任。1986年9月 結婚を機にキガリ市の技術高等専門学校に洋裁の教師として転任。1993年5月青年海外協力隊カウンターパートナーとして福島文化学園にて洋裁の研修を受ける。1994年2月ルワンダへ帰国。同年4月7日内戦ぼっ発。子ども3人を連れ、隣国のコンゴ民主共和国の難民キャンプに逃れる。難民キャンプで偶然出会ったアムダの日本人医師の通訳となる。1994年12月 研修生時代の友人らの尽力で家族そろって再来日。2000年10月「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、キガリ市内に学校を設立。命の尊さ、教育の大切さを訴える活動で全国を駆け回っている。現在も継続して教室の拡大、図書館や給食室も設置している。2011年3月在住する福島において東日本大震災で被災、原発事故を経験。以後、避難所で、のちに仮設住宅でのボランティア活動も行っている。2012年5月日本国籍取 2014年8月日本とルワンダとの相互理解の促進活動が認められ、外務大臣表彰を受ける

★**早川千晶(はやかわ・ちあき)** ケニア在住 28 年。キベラスラムのマゴソスクール主宰。世界放浪の旅の後ケニアに定住。ナイロビ最大級のスラム・キベラで、孤児・ストリートチルドレン・貧困児童のための駆け込み寺・マゴソスクール、海岸地方ミリティーニ村にジュンバラ・ワト(子どもの家)を運営している。スラム住民の生活向上、マサイ民族のコミュニティと共に行うエコツアー、大自然体験キャンプ、フェアトレード活動、CD 制作などを手がけている。著書に、「アフリカ日和」(旅行人)、「輝きがある。～世界の笑顔に出会う瞬間(とき)」(出版文化社)。1999 年から日本全国各地でアフリカトーク&ライブのツアーを展開している。2015 年度第 5 回賀川豊彦賞受賞。

★**ダン・オチエン・オドゥオール(Daniel Ochieng Oduor)=ダン校長先生**。1978 年生まれ。キベラスラム在住。6 人兄弟姉妹の 2 番目。18 歳のとき、警察官だった父親が死亡。何とか高校を卒業したものの、学費が無くて進学できずキベラスラムへ出稼ぎに。一年後に母親も死亡。キベラスラムでエイズ孤児の子どもたちのホームでボランティアをはじめ、その後、その学校の教員になる。2006 年にマゴソスクールに出会い、教員として働きながら定時制の大学へ進学。2009 年にマゴソスクール校長に就任。孤児の子どもたち・未亡人・高齢者を助けたいという情熱を持って活動している。マゴソスクールの子どもたちにとってお父さん的な頼れる存在。「すべては実現可能！そのために必要なのは、努力、チームワーク、そして集中力！」(by ダン先生)

★**へゼカヤ・オギラ(Hezekiah Ogira)=オギラ教頭先生**。1986 年生まれ。キベラスラム在住。5 人兄弟姉妹の次男。8 歳のときにキベラスラムで母親が死亡。そのとき末の弟(スティーブ)は 6 ヶ月だった。学校に行きたいという夢をあきらめず、弟を背負って物乞いをしながら近所の子どもたちにノートを借りて勉強を続けた。キベラの教会で出会ったリアンの協力により奨学金を得て、2000 年、セカンダリースクールに入学。高校に通いながらマゴソスクールでボランティアをはじめ。2004 年、高校を卒業し、マゴソスクールの正式な教師となる。2008 年、マゴソスクールの教頭に就任。現在に至る。マゴソスクールでは音楽部の顧問を務め、歌や踊り、タイコなどを指導して子どもたちを盛り上げ、マゴソスクールの音楽チームを毎年、ケニア全国小学生の音楽大会での入賞に導いている。「日本の皆さんとのつながり。友達として始まった。そして今ではみんな大きな家族！」(by オギラ先生)

★**大西匡哉(おにし・まさや)** ケニア伝統太鼓「ンゴマ」奏者。映像作家。9 年間に渡るケニア音楽修行を終え 2013 年帰国。ストリートミュージシャン、ジャムロックバンド「らぞく」、打楽器グループ「楽」「ブルケンゲ」で活躍、その後、2004 年からケニアのミジケンダ・グループに属するドゥルマ民族の村で伝統文化継承者スワレ・マテラ・マサイ氏に師事し、センゲーニヤと呼ばれる伝統音楽の修行を続け、20 人目の息子となった。2004 年、アフリカの伝統音楽家とそのコミュニティをサポートするためのプロジェクト JIWE を設立。知られざる伝統音楽の発掘、CD 制作、音楽を通じての村おこしに取り組んでいる。CD「センゲーニヤ～東アフリカの伝統音楽 ドゥルマ・ディゴ・ラバイ」、「TWEENDE NYUMBANI～キベラスラムの歌声 Vol.1」、「MILELE～キベラスラムの歌声 Vol.2」、「Tupendane～アイシオウ!」、「MASAI～東アフリカの伝統音楽 マサイ」をリリース。早川千晶とマゴソスクールの子どもたちと共に「マゴソ TV!」、ドキュメンタリー「マサイのいま～伝統と変化のはざままで」を制作中。

FAX 予約申込用紙 022-797-7556 アマニヤアフリカ宛

★6月4日(日)の アマニヤアフリカ主催イベントへの参加を申込みます。

★お名前

★参加人数

★連絡先 お電話又はメールアドレス

★参加イベント: 第1部トークショー ・ 第2部アフリカドラムライブ (どちらかまたは両方を○で囲ってください)

第2部はお一人様2000円となります。当日会場受付にてお支払い下さい。アマニ会員様は 1800 円です。